

／ まずは気づくことが大切 ／

アンコンシャス・バイアス

● 問合せ 企画政策課 男女協働推進係 (☎ 23-2115)

アンコンシャス・バイアスとは

男女協働参画の取り組みの進展が未だに十分ではない要因の一つに、社会全体において固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスが存在していることが挙げられます。

アンコンシャス・バイアスは、日本語で『無意識の思い込み』などと表現され『アンコン』と省略されることもあります。

アンコンは、誰もが持っているもので、これまでの経験や見聞きしてきたことなどから生み出されるため、完全に払拭することは難しいことなのかもしれません。しかし、気づかないまましていると自分や周りの人の可能性を狭めてしまったり、誰かを傷つけてしまったりする場合があります。

今回の特集では、アンコンがどのようなものかなどを紹介します。

まずは、アンコンシャス・バイアスを知って、自分の中にあるアンコンに気づくきっかけにしてみてください。

はじめにあなたの考えを確認してみましょう

家庭やコミュニティ、職場などのさまざまな場面での皆さんの考えを確認してみましょう。
次の設問ごとに「そう思う」「どちらかといえばそう思う」場合には□に✓を付けてください。

- ☐ 男性が家計を支えるべきだ
- ☐ 女性は女性らしい感性があるものだ
- ☐ 女性は感情的になりやすい
- ☐ デートや食事のお金は男性が負担するべきだ
- ☐ 育児期間中の女性は重要な仕事を担当するべきではない
- ☐ 女性のか弱い存在なので守らなければならない
- ☐ 男性は結婚して家庭を持って一人前だ
- ☐ 男性は人前で泣くべきではない
- ☐ 女性は結婚によって経済的に安定を得る方が良い
- ☐ 男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ
- ☐ 組織のリーダーは男性の方がむいている
- ☐ 大きな商談や交渉事は男性が行う方がよい
- ☐ 家事や育児は女性がするべきだ
- ☐ 親の介護は女性がするべきだ
- ☐ 職場で女性は男性のサポートに回るべきだ

チェックの
結果



チェックを付けた項目が『5個以上』あった人は、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、性別で任せる仕事を決めつけてしまい、自分や周りの人の成長や可能性を狭めている場合があることから注意が必要です。

アンコンシャス・バイアスに関する全国調査結果

あなたの考えをチェックした結果はどうでしたか。

国は、令和4年度にアンコンシャス・バイアスに関する調査を行っています。調査の結果、アンコンシャス・バイアスという言葉の認知度は『21.4%』にとどまっています。

ここでは、性別での役割意識に関して、家庭や職場といった各場面などでの回答結果を男女ごとに紹介します。

■国の調査の概要

【対象者】全国男女 20 代～ 60 代 【回答者数】 10,836 人 (男性 5,452 人、女性 5,384 人)

【調査内容】性別による役割について「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」で回答

1. 性別役割意識（全体） ※上位5項目

	男性	(%)		女性	(%)
1	男性が家計を支えるべきだ	48.7	1	男性が家計を支えるべきだ	44.9
2	女性は女性らしい感性があるものだ	45.7	2	女性は女性らしい感性があるものだ	43.1
3	女性は感情的になりやすい	35.3	3	女性は感情的になりやすい	37.0
4	デートや食事のお金は男性が負担するべきだ	34.0	4	育児期間中の女性は重要な仕事を担当するべきではない	33.2
5	育児期間中の女性は重要な仕事を担当するべきではない	33.8	5	女性は結婚によって経済的に安定を得る方が良い	27.2

2. 性別役割意識（家庭・コミュニティ） ※上位5項目

	男性	(%)		女性	(%)
1	男性が家計を支えるべきだ	48.7	1	男性が家計を支えるべきだ	44.9
2	デートや食事のお金は男性が負担するべきだ	34.0	2	女性は結婚によって経済的に安定を得る方が良い	27.2
3	男性は結婚して家庭を持って一人前だ	30.4	3	男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ	21.6
4	女性は結婚によって経済的に安定を得る方が良い	28.6	4	デートや食事のお金は男性が負担するべきだ	21.5
5	男性は家庭よりも仕事を優先すべきだ	28.4	5	家事育児は女性がするべきだ	20.7

3. 性別役割意識（職場） ※上位5項目

	男性	(%)		女性	(%)
1	育児期間中の女性は重要な仕事を担当するべきではない	33.8	1	育児期間中の女性は重要な仕事を担当するべきではない	33.2
2	組織のリーダーは男性の方がむいている	26.1	2	組織のリーダーは男性の方がむいている	20.9
3	受付・接客・応対（お茶出し）は女性の仕事だ	24.1	3	大きな商談や大事な交渉事は男性がやるほうが良い	20.9
4	大きな商談や大事な交渉事は男性がやるほうが良い	23.1	4	受付・接客・応対（お茶出し）は女性の仕事だ	18.3
5	成功していても結婚をしていない男性はなにかが足りないと感じる	22.9	5	成功していても結婚をしていない男性はなにかが足りないと感じる	16.4

アンコンシャス・バイアスへの気づきは、 一人一人がイキイキと活躍する社会への第一歩

Q

アンコンシャス・バイアスとは、具体的には
どういった事例がありますか

A

日常のあらゆる場面で起きています。例えば、次のような例が挙げられます。これらはほんの一例で、アンコンシャス・バイアスは、日常や職場にあふれています。

- 血液型を聞いて、相手の性格を想像することがある
- 性別や世代、学歴などで相手を見ることがある
- 「親が単身赴任中です」と聞くと、まずは『父親』を思い浮かべる（母親は思い浮かべない）
- 『性別』で任せる仕事や役割を決めていることがある
- 男性から育児や介護休暇の申請があると「なぜ奥さんではないのだろうか」ととっさに思ってしまう
- 子育て中の女性に、転勤を伴う仕事の打診はしない方がいいと思う



Q

アンコンシャス・バイアスは、解消できるもの
のでしょうか

A

具体的な対処法を3つ伝えます

対処法1

決めつけない、押しつけない

アンコンシャス・バイアスから生まれる言動には「普通そうだ」「こうあるべきだ」「どうせ無理だ」といった決めつけや押しつけが挙げられます。

例えば「子育て中の女性は普通、長期出張は無理だ」「この仕事は、大抵の男性には無理だ」といったように、自分の決めつけや押しつけの言動に気づいたなら「これは私のアンコンシャス・バイアスかも」と疑ってください。

頭ごなしに決めつけないこと、一人一人と対話をしてみることで、相手を尊重する心の姿勢を持つことがカギを握ります。

対処法2

相手の表情や態度の変化など『サイン』に注目する

相手の心の後味が、サインとなって表れます。『急に表情が曇った』『声のトーンが変わった』『キーボードを打つ音が大きくなった』『オンライン会議中に急にビデオがオフになった』といったサインに気づいたなら「私のアンコンシャス・バイアスによる言動が、相手の心の後味を濁したかも」と、ぜひ立ち止まってみてください。違和感をそのままにせず、フォローすることを心掛けてみてください。

Q

個々人が持っているアンコンシャス・バイアスは、それ自体が問題なのでしょうか

A

アンコンシャス・バイアスは誰にでもあって、あること自体が問題という訳ではありません。

過去の経験や、見聞きしたことに影響を受けて自然に培われていくため、アンコンシャス・バイアスそのものに良し悪しはありません。しかし、アンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、そこから生まれた言葉が、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、キャリアに影響をおよぼしたり、自分自身の可能性を狭めてしまうなど、さまざまな影響があるため注意が必要です。

Q

私たちが、アンコンシャス・バイアスと向き合い続けていくためのポイントがありますか

A

過去の経験や見聞きしてきたことは、未来への重要な財産です。

否定されるものではありません。一方で、

『^{じっ ぽ ひと から}十把一絡げなモノの見方が悪影響をもたらすこともある』という意識を持ち続けてみてください。大切なことは、一人一人、その時々と向き合うことです。「100人に影響がなくても、101人目に影響があるかもしれない」「これまでに出会った100人の女性／男性はこうだったと決めつけずに、101人目は違うかもしれない」「過去と今とは違うかもしれない」といったように、101人目に思いをはせてみてください。

対処法3

自己認知

アンコンシャス・バイアスの正体は『自己防衛心』です。脳が無意識のうちに自分にとって都合のよい解釈をすることによって起きています。自然の摂理であり、完全に払拭することはできません。だからこそ、大切なことはアンコンシャス・バイアスに気づこうと一人一人が意識することです。

「これって私のアンコンシャス・バイアスなのか」と自分に問いながら、1～2週間アンコンシャス・バイアスのメモを取ることもお薦めです。自分のモノの見方のクセや、思考のクセに気づけるかもしれません。

令和6年度 男女協働参画フォーラムを開催しました

昨年10月14日、市民センターで、市と市男女協働参画懇話会 いまりプラザが主催して『令和6年度 男女協働参画フォーラム』を開催しました。

■ 弁護士 田坂茜さんの講演会

「はて！？ジェンダーバイアスとは？」

松本法律事務所（唐津市）の弁護士 田坂茜さんが講師を務めた講演会では、バイアス（bias）という言葉が、偏見や先入観、偏りといった意味を持ち、ジェンダーバイアスは『男らしさ』『女らしさ』を基に男女の役割を考えることや、性差に対して差別や偏見を持つことだと伝えました。

そのほかにも、身近な性差によるバイアスや世界のジェンダーギャップなど、幅広い内容の話がありました。

■ アンコンシャス・バイアスをテーマとした映画『アンコン～夫婦あるある物語～』の上映

※一社団法人 HAPPY WOMAN 協力



フォーラム参加者の声（抜粋）

- ・ 何気ない言葉にもジェンダーバイアスがある。国などは女性の活躍を推奨しているが、ジェンダーバイアスの内容をみんなが理解しているのかは疑問がある。
- ・ フォーラムの参加者は女性が多かったので、男性にもっと参加してほしい。
- ・ 思い込みは知識を得ることで少しずつ変わっていくと思う。
- ・ 聞き馴染みがあった『職場の華・大黒柱』という言葉にまだまだジェンダーバイアスがかかっていると思う。
- ・ これまでの人生を変えていくことの難しさを感じた。1日1日を気にかけてながら生活したい。
- ・ 知らなかったでは済まされない。仕事で自分の言動に気を付けたいと感じた。



男女協働参画への理解を深めるために『出前講座』を利用しませんか

市と市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』は、地域の集まりや職場、学校、さまざまな場所に出向いて講座を行っています。男女協働参画などについて、分かりやすく身近に感じてもらうため内容を工夫していますので、ぜひ利用してください。

【出前講座のテーマ例】

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ▷男女協働参画について全般的なこと | ▷男女協働参画視点から考える防災 |
| ▷ワーク・ライフ・バランス | ▷DV防止に関すること |
| ▷ハラスメントに関すること | ▷LGBTQへの理解 |
| ▷アンコンシャス・バイアスに関すること | ※その他の内容については相談してください。 |

【申込・問合せ先】

企画政策課 男女協働推進係（伊万里市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』事務局）

電話：0955-23-2115 メール：kikaku@city.imari.lg.jp



伊万里市は、平成13年1月13日に『男女共同参画都市宣言』をしました。今年も宣言をした月である1月に合わせて、伊万里駅に横断幕を設置し、啓発活動を行っています。